

交野市文化財調査概要 1996-1

平成 8 年度

交野市埋蔵文化財発掘調査概要

1997. 3

交野市教育委員会

例　　言

- 1 本書は交野市教育委員会が、平成8年度国庫補助事業として計画・実施した交野市内における埋蔵文化財発掘調査の概要報告である。
- 2 発掘調査は交野市教育委員会が調査主体となって実施した。
- 3 本書で使用したレベル高は海拔絶対高で、方位は磁北方位である。

目 次

例 言

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況	1
------------------------	---

第2章 発掘調査報告	1
第1節 交野郡衙跡	1
第2節 ハセデ遺跡	4
第3節 倉治遺跡	5
第4節 東倉治遺跡	6
第5節 私部城遺跡	7
第6節 坊領遺跡	8
第7節 馬場遺跡	9
第8節 森遺跡	10
第9節 天田神社遺跡	12

挿 図

第1図 交野郡衙跡及びハセデ遺跡調査地位置図	1
第2図 掘削位置図	2
第3図 掘削位置図	3
第4図 掘削位置図	3
第5図 掘削位置図	4
第6図 掘削位置図	4
第7図 掘削位置図	5
第8図 掘削位置図	5
第9図 倉治遺跡調査地位置図	5
第10図 掘削位置図	6
第11図 東倉治遺跡調査地位置図	6
第12図 掘削位置図	7
第13図 私部城遺跡調査地位置図	7
第14図 掘削位置図	8
第15図 坊領遺跡調査地位置図	8
第16図 掘削位置図	9

第17図 馬場遺跡調査地位置図	9
第18図 掘削位置図	10
第19図 森遺跡調査地位置図	10
第20図 掘削位置図	11
第21図 掘削位置図	11
第22図 掘削位置図	12
第23図 掘削位置図	12
第24図 天田神社遺跡調査地位置図	12
第25図 掘削位置図	13
第26図 掘削位置図	13

図 版

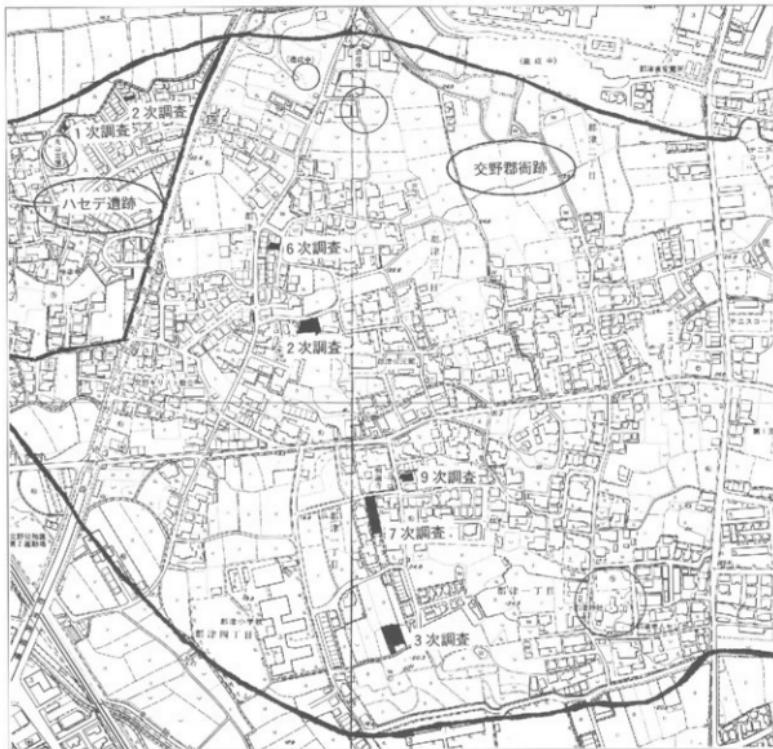
- 図版 1 交野郡衙跡96-3次調査地溝完掘状況
 図版 2 交野郡衙跡96-3次調査地溝内出土遺物（土製品）
 図版 3 交野郡衙跡96-3次調査地溝内出土遺物（瓦・土器）

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況

交野市教育委員会では平成8年6月25日から平成9年1月27日に至る間、18件の補助事業に係る発掘調査を実施した。今年度、調査対象となった遺跡は9箇所である。

第2章 発掘調査報告

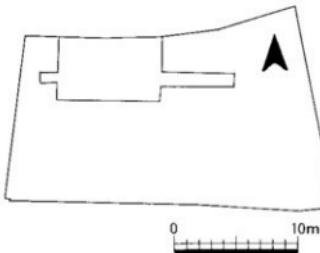
第1節 交野郡衙跡



第1図 交野郡衙跡及びハセテ遺跡調査地位置図（縮尺1：5,000）

① 交野郡衙跡96-2次調査 交野市郡津3丁目1916

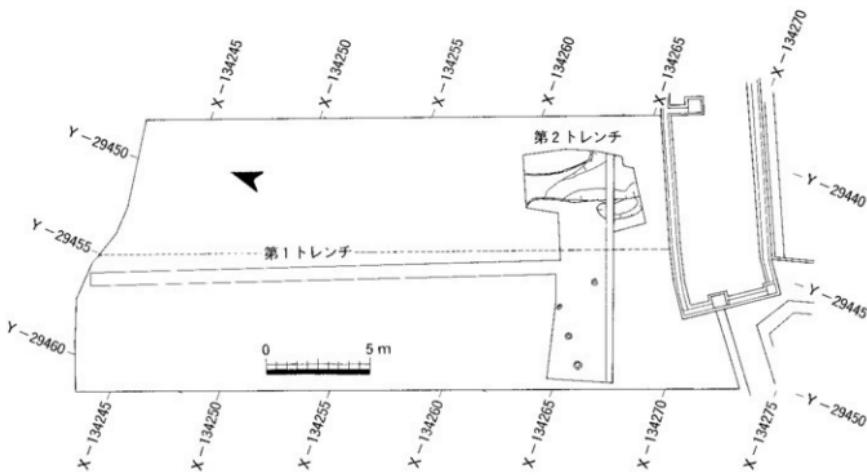
調査区の北西部に $15.5 \times 1.0\text{m}$ のトレンチを設定し、地表下 0.5m まで掘り下げる。埋土中より古代から中世に属する土器・鉄滓が確認されたため、断面実測後再度 $8.0 \times 5.0\text{m}$ のトレンチを設定し、調査を継続した。同トレンチからも同一時期の遺物は確認できたが、遺構は検出できなかつた。層位は上層より黒褐色シルト、明黄褐色粘土、灰白色シルト、古代～中世の遺物を含む明黄褐色粘土、にぶい黄橙色シルトがあり、その下層は郡津一帯の台地の地山の明黄褐色粘土である。同調査区は以前傾斜地であったところに南側部分を削平して北側に盛土をした平坦地であることを確認した。またさきに述べたように遺物中には鉄滓も含まれており、周辺に鍛冶工房の存在が推定できる。



第2図 掘削位置図

② 交野郡衙跡96-3次調査 交野市郡津1丁目394-18, 19, 20、395-2

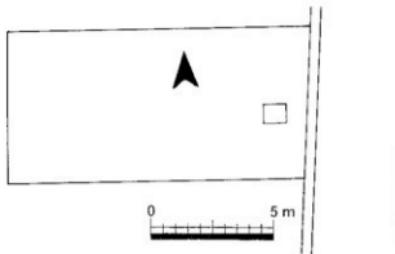
2つの調査区が接していることから、あわせて試掘調査を実施した。両調査区の境の西側に沿った部分に $22.0 \times 0.7\text{m}$ の第1トレンチを、また両地区を貫く形での南側には $11.0 \times 3.0\text{m}$ の第2トレンチを設定する。この第2トレンチの東側にて奈良時代の遺構が確認されたため南北それぞれ拡張して調査を行った。同調査区は東側に広がる中位段丘面より一段落ちの低位段丘面で、検出した遺構はおそらくは中位段丘面の縁辺部を流れていた溝の可能性がある。また同調査区の北側からは単弁八葉蓮華文軒丸瓦を交野市文化財保護委員の奥野平次氏によって採取されており、この低位段丘面である端平部に古代寺院もしくは交野郡衙関係の建物群が存在していたと考えられる。層位は東側ほど浅く地表下 0.3m で郡津台地特有の明黄褐色粘土が認められた。溝中からは奈良時代に属する土器のほか、瓦・製塙土器・馬状土製品などが出土している。



第3図 掘削位置図

③ 交野郡衙跡96-6次調査 交野市郡津3丁目1438-3

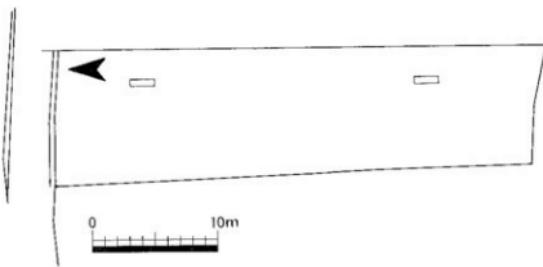
調査区に0.8×1.0mのトレンチを設定し、地表下1.0mまで掘り下げる。近年盛土をしたよう
で黄褐色砂層が続くのみであった。遺物・遺構は確認できなかった。



第4図 掘削位置図

④ 交野郡衙跡96-7次調査 交野市郡津1丁目384-1~5

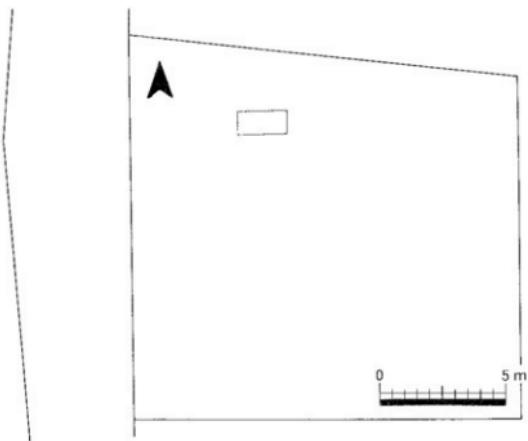
調査区の南北にそれぞれ2.0×0.8mのトレンチを設定し、地表下0.7mまで掘り下げる。それ
ぞれ表土下0.3mまでは盛土で、下層に郡津台地特有の明黄褐色粘土層が認められた。遺構・遺
物は確認できなかった。



第5図 掘削位置図

⑤ 交野郡衙跡96-9次調査 交野市郡津1丁目330-1

調査区の北西部に 2.0×1.0 mのトレンチを設定し、地表下0.6mまで掘り下げる。遺構・遺物は確認できなかった。層位は4層確認できたが、同調査区は斜面に盛土を行ったようで、地山面は検出できなかった。

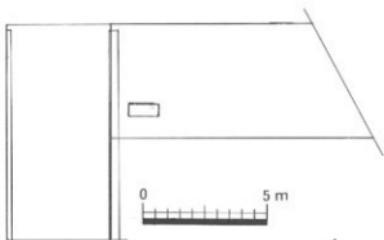


第6図 掘削位置図

第2節 ハセデ遺跡

① ハセデ遺跡96-1次調査 交野市郡津5丁目1084-49

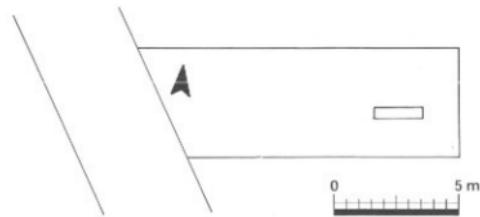
調査区の南側に 1.2×0.5 mのトレンチを設定し、地表下0.5mまで掘り下げる。調査区は前の住宅建設に先立ち斜面に盛土を施し平坦面を造りだしたと考えられ、黄色砂層で構成される盛土のみであった。遺構・遺物は確認できなかった。



第7図 挖削位置図

② ハセデ遺跡96-2次調査 交野市郡津5丁目1084-53

調査区の東側に2.0×0.5mのトレーナーを設定し、地表下0.5mまで掘り下げる。地山面が西から東へかけて下がっており、同調査区の東側部分は以前傾斜地のところを近代のゴミを含んだ盛土によって平坦面を形成したことが確認できた。遺構・遺物は確認できなかった。

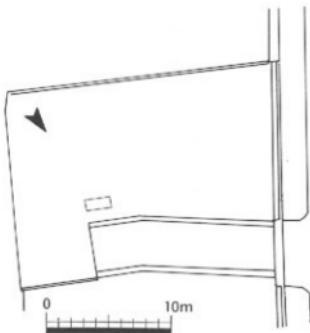


第8図 挖削位置図

第3節 倉治遺跡



第9図 倉治遺跡調査位置図（縮尺 1 : 5,000）

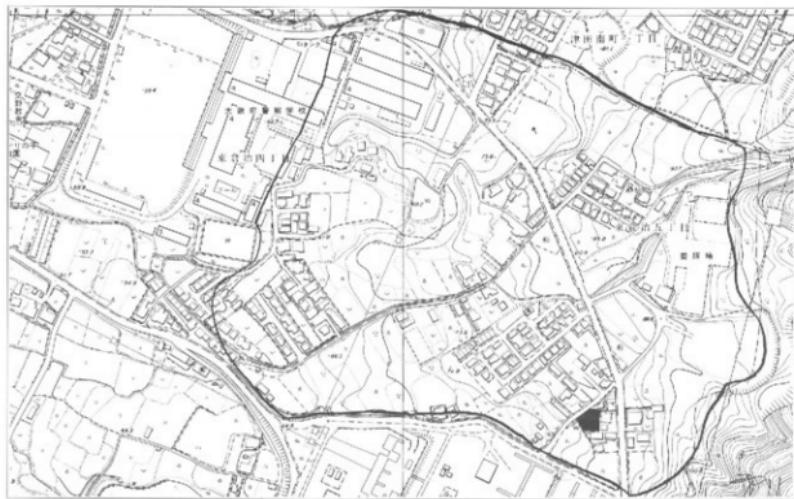


第10図 挖削位置図

倉治遺跡96-1次調査 交野市倉治1丁目582-7, 8の一部

調査区の中央部に2.0×1.0mのトレーナーを設定し、地表下1.0mまで掘り下げる。第4層の黒褐色粘土層中から須恵器・土師器片が確認できたが、遺構は確認できなかった。層位は上層から旧耕作土、灰色粘土、灰黑色粘土、遺物を含んだ黒褐色粘土、青灰色粘土が認められた。

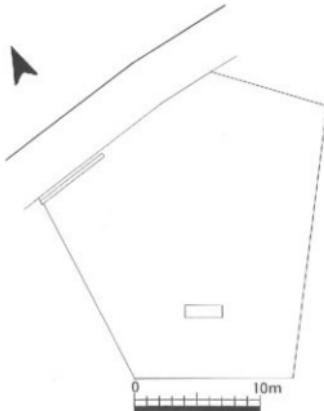
第4節 東倉治遺跡



第11図 東倉治遺跡調査位置図（縮尺1:5,000）

東倉治遺跡96-1次調査 交野市東倉治3丁目2072-5

調査区の南側に3.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下1.0mまで掘り下げる。層位は上層より黄色粗砂、黒褐色シルト、黄褐色粗砂で構成されており、山崩れなどによる堆積と考えられる。交野市倉治から寺にかけての山沿いにおいてよく見られる堆積である。遺構・遺物は確認できなかった。



第12図 挖削位置図

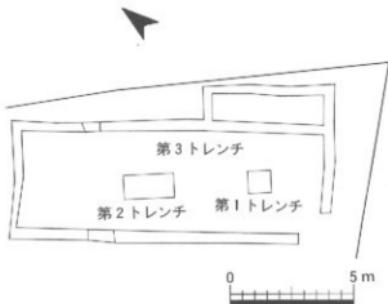
第5節 私部城遺跡



第13図 私部城遺跡調査地位置図 (1 : 5,000)

私部城遺跡96-1次調査 交野市私部4丁目1679-1

最初調査区の中央部に $1.0 \times 1.0\text{m}$ の第1トレンチ、 $2.0 \times 1.0\text{m}$ の第2トレンチを設定し、第2トレンチを地表下 0.6m 、第1トレンチを 0.7m まで掘り下げたところ第2トレンチで室町時代に属する平瓦を確認した。建物によって遺跡が破壊される恐れがあるので基礎部のみ調査を第3トレンチとして実施した。結果は北側で溝が確認されたのみであった。



第14図 挖削位置図

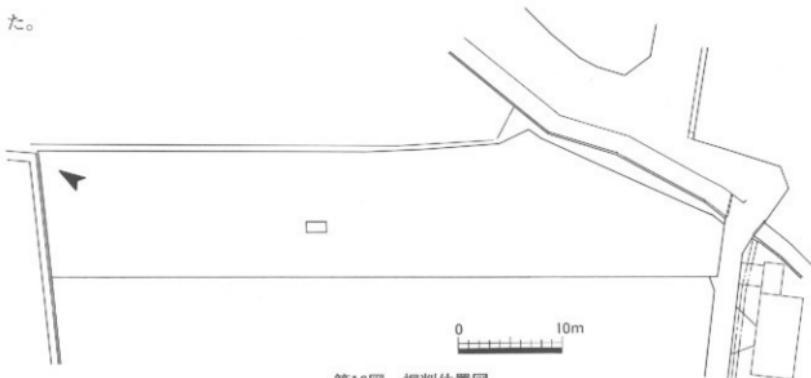
第6節 坊領遺跡



第15図 坊領遺跡調査地位位置図 (1 : 5,000)

坊領遺跡96-1次調査 交野市藤が尾6丁目164-1

調査区の中央部に2.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下0.4mまで掘り下げる。層位は第1層は耕作面、第2層は黄褐色粘土層、第3層は黄褐色粘土層で、第3層中に土師器片が確認できた。



第16図 掘削位置図

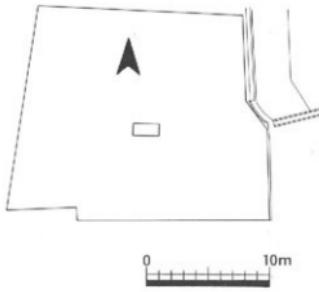
第7節 馬場遺跡



第17図 馬場遺跡調査地位置図 (1:5,000)

馬場遺跡96-1次調査 交野市私市6丁目450-1

調査区に2.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下0.5mまで掘り下げる。層位は上層より5BG6/1青灰色粗砂、10YR2/2黒褐色シルト、2.5Y8/6黄色礫である。遺構・遺物は確認できなかった。



第18図 挖削位置図

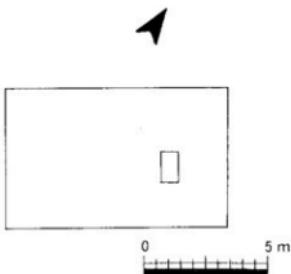
第8節 森遺跡



第19図 森遺跡調査地位置図 (1 : 5,000)

① 森遺跡96-2次調査 交野市私市2丁目1128-12

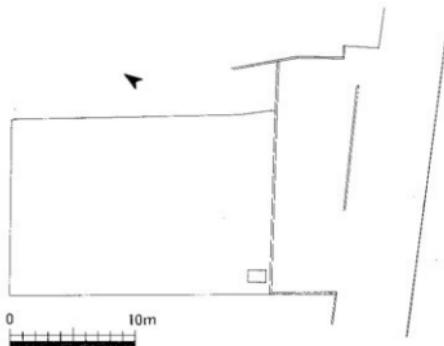
調査区の東側に $1.3 \times 0.7\text{m}$ のトレンチを設定し、地表下1.0mまで掘り下げる。調査の結果、地表下0.4mで中世耕作層である暗紫灰色シルト層を確認する。また地表下0.8mで古墳時代初頭の水田面と思われる黒色粘土層を確認する。同層内から土師器片を確認する。



第20図 掘削位置図

② 森遺跡96-5次調査 交野市森南3丁目130-1, 131-3

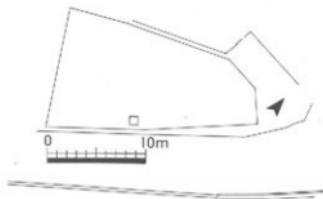
調査区の南側に $1.5 \times 1.0\text{m}$ のトレンチを設定し、地表下0.2mまで掘り下げる。遺構・遺物は確認できなかった。



第21図 掘削位置図

③ 森遺跡96-7次調査 交野市森南3丁目21-1

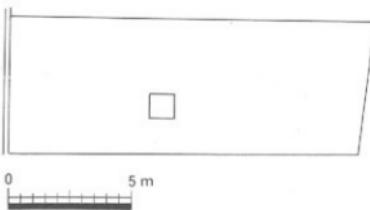
調査区東側中央に $1.0 \times 1.0\text{m}$ のトレンチを設定し、地表下0.4mまで掘り下げる。盛土のみで遺構・遺物は確認できなかった。



第22図 掘削位置図

④ 森遺跡96-8次調査 交野市森南1丁目3-2

調査区の中央部に $1.0 \times 1.0\text{m}$ のトレンチを設定し、地表下 0.5m まで掘り下げる。盛土のみで、遺構・遺物は確認できなかった。



第23図 掘削位置図

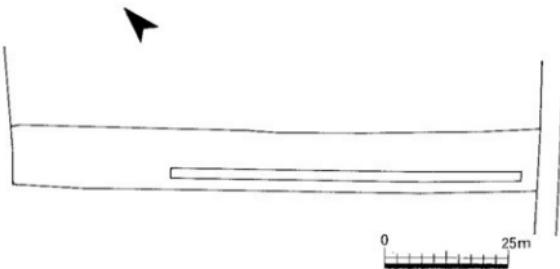
第9節 天田神社遺跡



第24図 天田神社遺跡調査地位置図 (1 : 5,000)

① 天田神社遺跡96-1次調査 交野市私市4丁目88-1

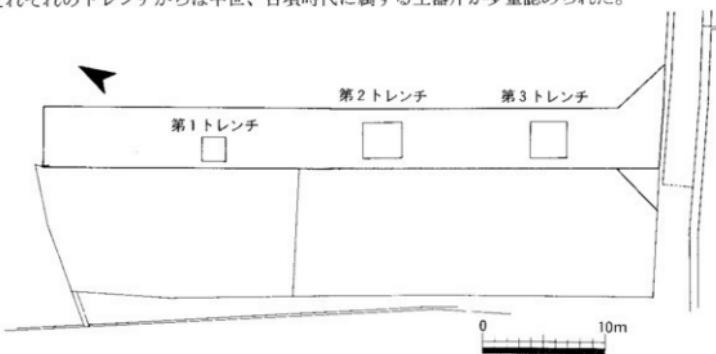
建物の基礎には支障なかったが、上下水道埋設管が遺構を破壊するため71×1mのトレンチを設置し、地表下1m前後まで掘り下げる。基本層序は天田神社遺跡に接する森遺跡一般に認められるものと大差はなかった。層位は第1層が耕作土でその下に床土が来る。第3層は10YR5/1褐灰色粗砂で近世初頭の山崩れで作られたものである。第4層は10YR6/6明黄褐色シルトで中世耕作面、古墳時代の遺物を包含する第5層は古代の包含層で耕作面とも考えられる10YR6/4明黄褐色シルトである。第6層は弥生時代に遡る洪水層と考えられる10YR5/1褐灰色粗砂である。



第25図 掘削位置図

② 天田神社遺跡96-2次調査 交野市私市1丁目28-1他

調査区に3ヶ所のトレンチを設定する。第1トレンチは調査区の北側で、2.0×2.0mで地表下0.5mまで掘り下げる。第2トレンチは調査区の中央部で、3.0×3.0mで地表下1.0mまで掘り下げる。第3トレンチは3.0×3.0mで地表下1.0mまで掘り下げる。遺構は確認できなかったが、それぞれのトレンチからは中世、古墳時代に属する土器片が少量認められた。



第26図 掘削位置図

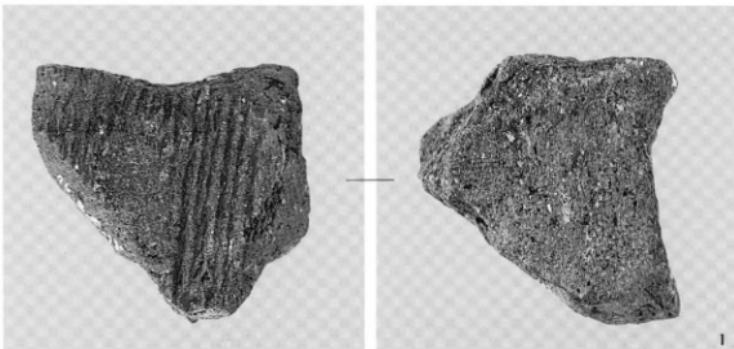
図 版



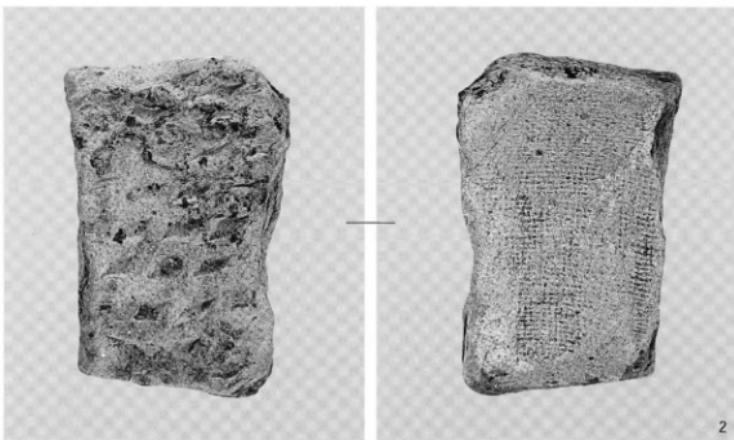
図版1 交野郡衙跡96-3次溝完掘状況



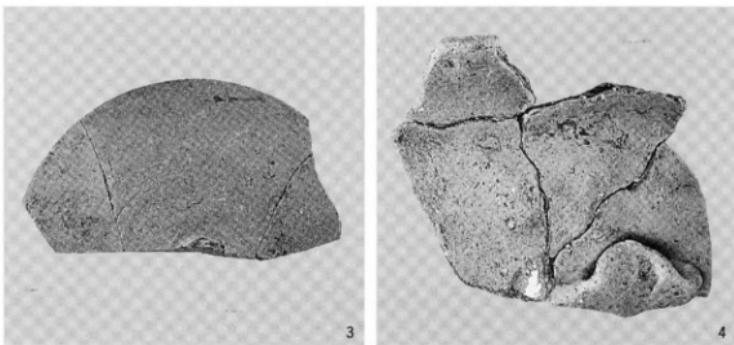
図版2 交野郡衙跡96-3次溝内出土遺物（土製品）



1



2



3

4

図版3 交野郡衙跡96-3次溝内出土遺物（瓦・土器）

報告書抄録(1)

ふりがな	へいせいせねんじかたのじまいせうぶんかさいはくつもようきがいよう						
書名	平成8年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要						
副書名							
卷次							
シリーズ名							
シリーズ番号	交野市文化財調査報告1996-1						
編著者名	真鍋成史						
編集機関	交野市教育委員会						
所在地	〒576 大阪府交野市私部1丁目1番1号 ☎(0720)92-0121						
発行年月日	西暦 1997年3月						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
所収遺跡名	市町村	遺跡番号	° °	° °			
交野郡衙跡 ① ② ③ ④ ⑤	交野市郡津	27230	34°47'30"	135°40'41"	1996. 7.12 ~13 1996. 7.18 ~ 8. 2 10.15 11.25 1997. 1.27	337.70 379.22 77.12 419.25 229.49	宅地開発
ハセデ遺跡	交野市郡津	27230	34°47'40"	135°40'30"	1996. 8.30 1996. 9. 5	43.71 52.53	宅地開発
倉治遺跡	交野市倉治	27230	34°47'30"	135°41'45"	1996.10.18	274.62	宅地開発
東倉治遺跡	交野市東倉治	27230	34°47'39"	135°42'21"	1996.12. 4	135.73	宅地開発
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
交野郡衙跡	散布地 集落跡 官衙跡	古墳～中世	溝 掘立柱建物	須恵器・土師器 瓦・製塙土器			
ハセデ	散布地	弥生・古墳					
倉治	集落	古墳		須恵器・土師器			
東倉治	散布地	弥生～古墳					

報告書抄録(2)

ふりがな	へいせいきねんじかたのしまいぞうぶんかざいほくつちょうきがいよう						
書名	平成8年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要						
副書名							
卷次							
シリーズ名							
シリーズ番号	交野市文化財調査報告1996-1						
編著者名	真鍋成史						
編集機関	交野市教育委員会						
所在地	〒576 大阪府交野市私部1丁目1番1号 ☎(0720)92-0121						
発行年月日	西暦 1997年3月						
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯 遺跡番号	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
私部城遺跡	交野市私部	27230		34°47'12" 135°40'57"	1996. 1.14 ~21	79.02	宅地開発
坊領遺跡	交野市藤が尾	27230		34°46' 2" 135°40'35"	1996. 7. 1	471.01	宅地開発
馬場遺跡	交野市私市	27230		34°45'59" 135°41'10"	1996.12.20	316.26	宅地開発
森遺跡	交野市私市 森前	27230		34°46'30" 135°41'34"	1996. 6.25 9.12 10.11 11.28	50.82 306.67 182.41 80.93	宅地開発
天田神社遺跡	交野市私市	27230		34°46'13" 135°41'24"	1996. 9.24 ~28 11.19	1308.03 460.97	宅地開発
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
私部城	城館跡	中世	溝	瓦			
坊領	集落跡	弥生					
馬場	散布地	中世					
森	集落跡 生産遺跡	弥生、古墳、 中世		須恵器・土師器			
天田神社	集落跡	弥生～古墳	溝	須恵器・土師器			

平成8年度 交野市埋蔵文化財発掘調査概要

発行日 1997年3月28日

編集・発行 交野市教育委員会
大阪府交野市私部1丁目1番1号

印刷所 株式会社 **きょうせい** 関西支社

